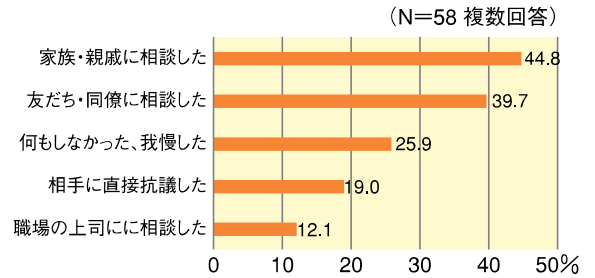


Ⅲ 調査結果

③-エ. 人権を侵害されたときの対応

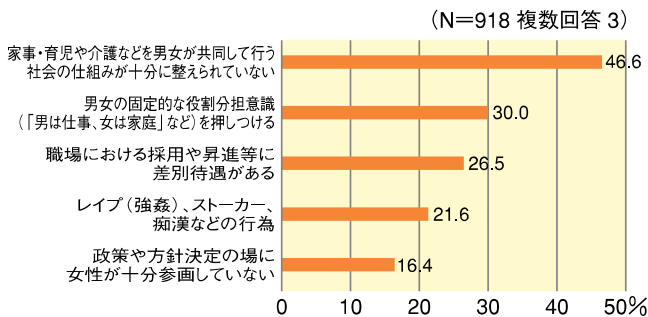
「人権を侵害されたことがある」と答えた方の、人権を侵害されたときどうしたかについては、「家族・親戚に相談した」が最も多く、次いで「友だち・同僚に相談した」、「何もなかった、我慢した」などとなっています。



2. 女性の人権について

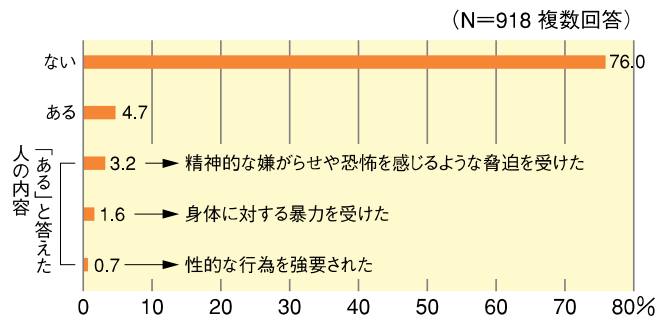
①. 女性に関する人権上の問題で特に問題があると思われること

女性に関する人権上の問題で特に問題があると思われることについては、「家事・育児や介護などを男女が共同で行う社会の仕組みが十分に整えられていない」が最も多く、次いで、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押しつける」、「職場における採用や昇進等に差別待遇がある」などとなっています。



②. 過去5年間にDVを受けた経験の有無

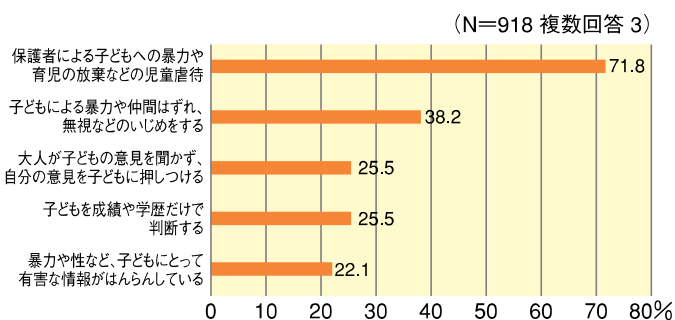
現在及び以前に結婚されていた人の過去5年間にDVを受けた経験の有無は、「ある」が4.7%、「ない」が76.0%となっています。DVを受けたと答えた方の中では、「精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」が最も多くなっています。



3. 子どもの人権について

①. 子どもに関する人権上の問題で特に問題があると思われること

子どもに関する人権上の問題で特に問題があると思われることについては、「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待」が最も多く、次いで「子どもによる暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする」、「大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに押しつける」、「子どもを成績や学歴だけで判断する」などとなっています。



②. 身近で保護者・同居人から虐待を受けている子どもがいることを知ったときの対応

身近で保護者・同居人から虐待を受けている子どもがいることを知ったらどうするかについては、「周囲の人に相談する」が最も多く、次いで「通報する」、「自分で止めに入る」などとなっており、これら3つを合わせた何らかの対応をする人の割合は87.3%となっています。

